

地質標本館 特別展

南極

の過去と現在、そして未来

研究最前線からのレポート

2021年

8月3日(火)

~11月7日

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

協力：国立極地研究所

文部科学省 科学研究費助成事業

新学術領域研究「熱-水-物質の巨大リザーバ：
全球環境変動を駆動する南大洋・南極氷床」

開催場所：地質標本館 1階ホール

開館時間：9時30分～16時30分

休館日：毎週月曜日(休日の場合は翌平日)
10月30日(臨時休館)


入場
無料

※ご見学には事前予約が必要です

地球上で最も寒い南極は人類が最後に到達した大陸であり、未だその素顔は十分に明らかにされていません。近年、南極氷床の融解により、世界の海面が予想以上のスピードで上昇することが懸念されています。今、南極で何が起きているのか。今後どうなっていくのか。最新の研究から明らかにされつつある南極大陸とそれを取り囲む海の謎に迫ってみましょう。

国立研究開発法人 産業技術総合研究所

地質調査総合センター

 GEOLOGICAL MUSEUM
地質標本館



〒305-8567 茨城県つくば市東 1-1-1
TEL : 029-861-3750, 3754 <https://www.gsj.jp/Muse/>

GSJ20210729

